

# DigitalCamera倶楽部

OCT 2023  
Vol.031

## 星峠の棚田

もう7年前になります 2016年9月末 北越急行ほくほく線の まつだい駅 近くに宿をとりました 早朝の撮影客に慣れていていろいろと教わりながら 暗いうちに宿を出て10数km 暗闇を走りましたが、前日に下見をしていたので 迷わずに撮影ポイントに着きました

何人かの先客がいましたが、凡そのポイントを決めて日の出を待ちました

見事に霧が一面を覆い 陽が昇るにつれて鮮やかさが移ってゆく素晴らしい ひと時を楽しみました 暫くすると 稲刈りボランティアの学生さんや観光客が 大型バスでやって来られましたが 日の出の一瞬は見られず それでも景色を楽しんで居られました

更に近くの芝峠にあるその名も 雲海 という名のホテルに泊まり翌朝はホテルの下のほうにある川からの霧による雲海を楽しむことができました



## 金井陽子のページ

花菜ガーデン：8月末の暑い日でしたので、貸し切り状態でした。シオカラトンボを追いかけてたり、花を探して歩いたりしました。







花菜ガーデン：彼岸花が咲いていて少し驚きました。百日紅・サルスベリが元気一杯でした。





笹原虎夫のページ

## 夏の田圃の鳥たち



ムナグロ(旅鳥)  
シベリアで繁殖し  
小笠原で越冬

コチドリ



幼鳥のチュウサギ  
ザリガニを捕食



## 身近な花たち



ランタナと  
オオスカシバ

花が咲きそろった  
ヤマハギ



猩々(ショウジョウ)草  
ポインセチアと同じ仲間



鈴木義則のページ

## 11月のある撮影会より

2015年11月に行った西伊豆の景色です。曇り日のため紅葉の反射光がなくきれいに写せました。



幹を中心にした構図と葉を中心とした構図です。見方に寄りますが下の写真の方が緑を額縁にした紅葉もきれいです





この2枚も「虹の郷」園内を走っているトロッコ列車ですが写し方で全く異なった構図になっています。紅葉を考えるなら上でしょうね





伊豆の長八美術館入り口です。江戸時代に狩野派の感覚を取り入れて作った長八の漆喰鏝絵は必見物です

美術館の前にあるサンプル蔵、漆喰の塗り方（盛り方）がよくわかります



堂ヶ島の観光スポット、観光船での岩穴くぐりですが波の高的ときは大変でしょう



## 鈴木瑠美子のページ

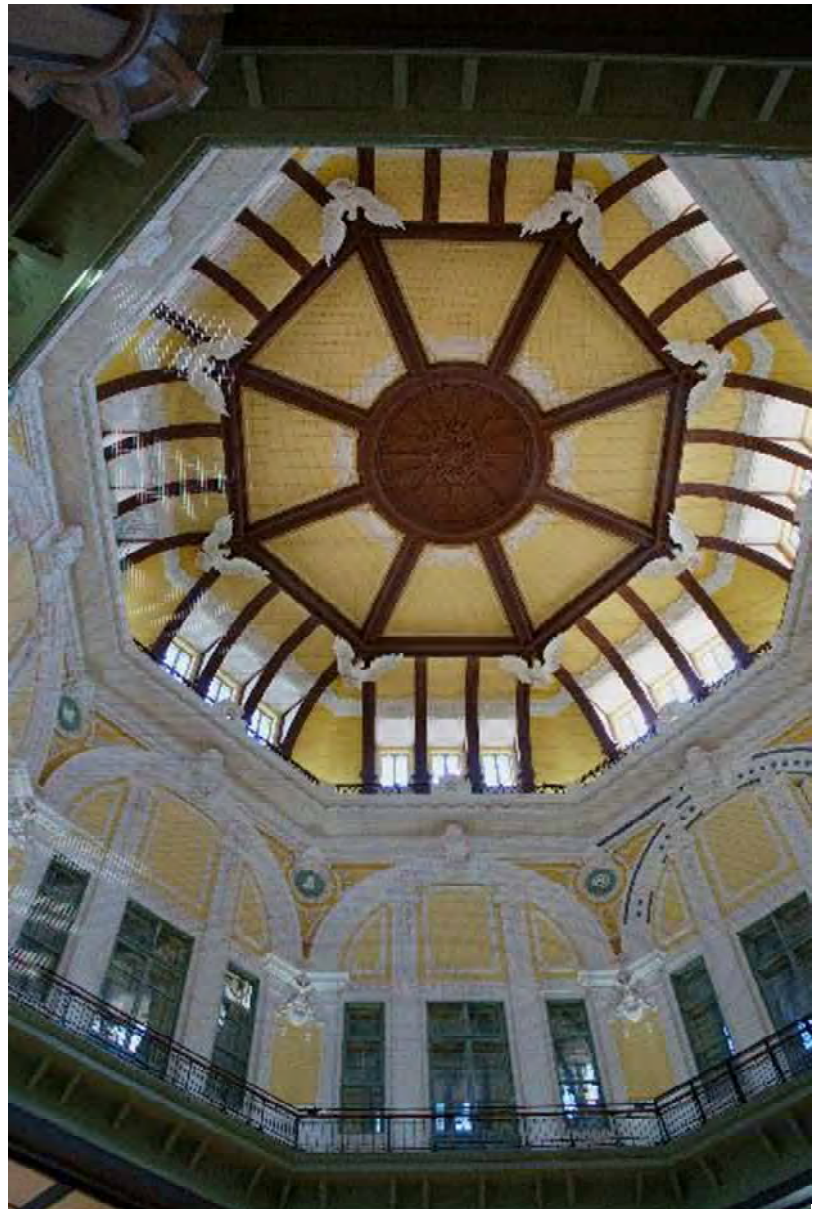
## 「懐かしい写真」

2012 年当時の写真です。古い写真ですが当時興味を持ったもので、この感覚は今も変わりません。



改修後の東京駅です

上の写真の中央部です。この駅舎が作られた頃にはこのようなデザインは日本人には考えられなかったのでしょうか







駅の外壁を飾る赤いレンガが見られるのも都内では数カ所のみになりました

郵便局本局の外観です。素晴らしい外観を残しつつ中に新しい本館を作る技術には感心します



皇居の外堀を歩く外人観光者やサラリーマン、今年の暑さの中ではどうだったのでしょうか





外環道の大橋ジャンクション付近での下から見上げる高速道路橋梁のダイナミックさは大好きです

鳥が3羽、左の鳥に蹴られた中の鳥はひっくり返り、右の鳥はひたすら逃げる  
(赤毛のアン)



毎年なる花桃の実、数は少なく大きくもありませんがかわいらしさがあります



長谷川 進のページ

R5-9月 スマート最新鋭【市電】  
宇都宮 LRT (ライトレールシステム) に乗ってみた

ゴミ焼却発電で電力を賄うエコ電車



↑ 下り平石駅通過  
（車両基地横）  
↑ 交差点内回り  
→ 交差点外回り  
→ 運転席から







↑ 横断待ち  
↑ 近代的な車内  
← 峠道入り  
↓ 鬼怒川を渡る





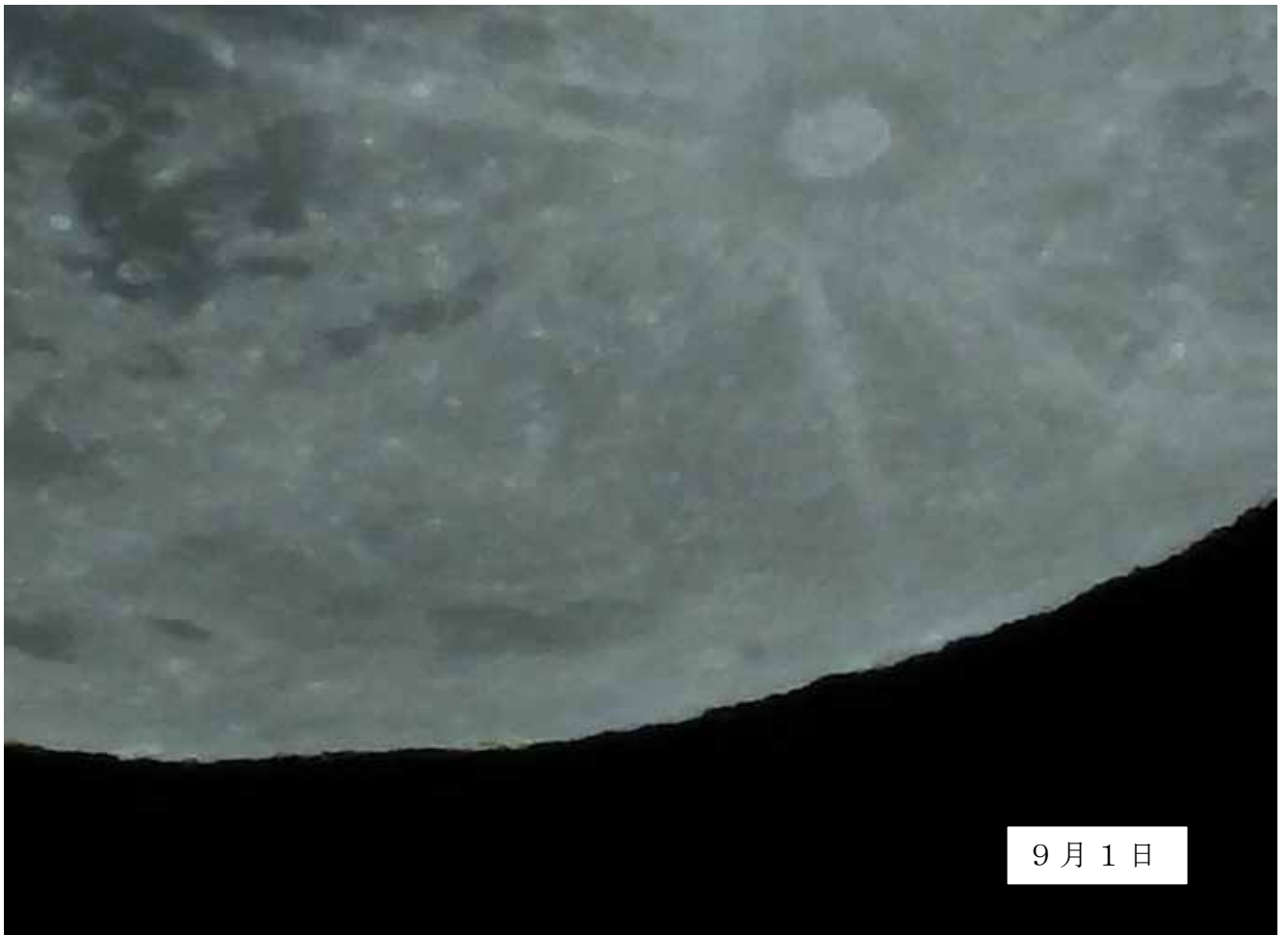
別府 2023 - 9月 23年8月31日スーパームーンは薄曇りでした







9月1日



9月1日



# 上 田 良 光 の ペ ー ジ

猛暑 炎天下のユリの花







アーティチョーク（上） 色鮮やかムクゲ満開（下）







炎天下に秋 コスモス（下）ヒメヒオウギスイセン（上）







炎天下 猛暑に負けずハス開花





金井寿雄のページ



花菜ガーデン  
ゴーヤです。







花菜ガーデン

最後の1輪かな？

